

講演

ひろさちや氏

真宗大谷派 西来寺 令和元年報恩講 記念講演

講題

お釈迦さまの言ったこと

のんびり、ゆったり、
ほどほどに

ひろさちや氏 Kazuo T.

一般聴講ご希望の方へ

参加費 1000 円

参加人数を明記の上、
往復はがきでお申込みください。

〒238-0051

神奈川県 横須賀市 不入斗町 3 - 38
西来寺「報恩講実行委員会」宛

誠に申し訳ございませんが、応募者多数の
場合は抽選とさせていただきます。当日は混
雑が予想されるため、当選されてもお立ち見
になってしまう可能性がございます。あらか
じめご了承のほどお願い申し上げます。

場所

西来寺 本堂

日時

令和元年

10月28日(月)

法要開始 午後一時

講演開始 午後二時十五分

(終了 午後四時)

お釈迦さまの言ったこと

報恩講講演「世界の宗教」「お念仏」「日本の宗教」と続いて、ひろ先生4年目の今年は「お釈迦様の言ったこと」です。

お釈迦様(ゴータマ・ブッダ)は、29歳で王子の身分、妻子を捨てて出家し、6年とも7年とも言われる修行の後、悟りに到った方で、紀元前5世紀前後(諸説あります)にインドに実在した人物です。悟られてからは「いかに生きるべきか」を人々に説いて歩きました。そして多くの人々に生きる力を与えたのです。

—あたかも、母が己がひとり子を命を賭けても護るよう そのように一切の生きとし生けるものどもに対しても、無量の慈しみのところを起こすべし—

これもお釈迦様の言葉と伝えられています。

なくなる前に故郷のルンビニーを目指して旅に出ます。その途中大地をふり回り —この世は美しいものだし、人間の命は甘美なものだ— と言ったとされています。これが仏教の始まりです。

何が起こるか分からない、どうしていいか分からない殺伐とした現代、お釈迦さまの言葉が大きな道標となるのではないのでしょうか。

仏教を中心に宗教をわかりやすく説き、多くの人々の支持を得る。
宗教思想の研究、講演などに活躍。



撮影 / 児玉成一

ひろ さちや (本名・増原良彦)

1936年 大阪市に生まれる
1960年 東京大学文学部インド哲学科を卒業
1965年 同大学院博士課程を修了

著書

「狂い」のすすめ	(集英社)	ポケット般若心経	(講談社)
釈迦とイエス	(新潮社)	仏教はじめの一步	(春秋社)
ひろさちやの般若心経88講	(新潮社)	「いいかげん」のすすめ (PHP 研究所)	
仏教に学ぶ老い方・死に方	(新潮社)	など 500冊以上	

西来寺の報恩講



報恩講とは、宗祖親鸞聖人の祥月命日の前後に勤められる法要です。親鸞聖人の教えに会い、自らの依りどころを教えていただいた御恩に報謝し、教えを聞信して、ともに念仏申す身となっていくことを誓います。



- JR 横須賀線「横須賀駅」、または京急線「汐入駅」より京急バス「西来寺循環」で10分~15分「西来寺」下車徒歩1分
- タクシー：京急「横須賀中央駅」より7分
- お車：横浜横須賀道路「横須賀 IC」または「衣笠 IC」下りる

真宗大谷派 東本願寺 大塚山 西来寺

〒238-0051 神奈川県 横須賀市 不入斗町 3丁目 38番 ☎ 046-822-1020 🌐 <http://sairaiji.com>